



システム MTU の設定

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [MTU に関する情報, 1 ページ](#)
- [MTU サイズの設定方法, 2 ページ](#)
- [システム MTU の設定例, 4 ページ](#)
- [システム MTU に関する追加情報, 4 ページ](#)
- [システム MTU の機能情報, 5 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェア リリースの [Bug Search Tool](#) およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

MTU に関する情報

すべてのインターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト最大伝送単位 (MTU) サイズは、1500 バイトです。10 または 100 Mbps で動作するすべてのインターフェイスで MTU サイズを増やすには、**system mtu** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。また、**system mtu jumbo** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用すると、すべてのギガビットイーサネットインターフェイス上でジャンボフレームをサポートするように MTU サイズを増やすことができます。



(注) 2960X は CPU でジャンボ フレームをサポートしています。

システム MTU のガイドライン

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

- すべてのインターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト最大伝送単位 (MTU) サイズは、1500 バイトです。10 または 100 Mbps で動作するすべてのインターフェイスで MTU サイズを増やすには、**system mtu** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。また、**system mtu jumbo** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用すると、すべてのギガビット イーサネット インターフェイス上でジャンボ フレームをサポートするように MTU サイズを増やすことができます。
- **system mtu** コマンドはギガビット イーサネット ポートには影響せず、**system mtu jumbo** コマンドは 10/100 ポートには影響しません。**system mtu jumbo** コマンドを設定していない場合、**system mtu** コマンドの設定はすべてのギガビット イーサネット インターフェイスに適用されます。

MTU サイズの設定方法

システム MTU の設定

10/100 インターフェイスまたはギガビット イーサネット インターフェイスすべての MTU サイズを変更するには、特権 EXEC モードで次の手順を実行します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **system mtu bytes**
3. **system mtu jumbo bytes**
4. **end**
5. **copy running-config startup-config**
6. **reload**
7. **show system mtu**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	system mtu bytes 例： Switch(config)# system mtu 2500	(任意) 10 または 100 Mbps で稼働するスイッチ スタックのすべてのインターフェイスに対して MTU サイズを変更します。 指定できる範囲は、1500～1998 バイトです。デフォルトは 1500 バイトです。
ステップ 3	system mtu jumbo bytes 例： Switch(config)# system mtu jumbo 7500	(任意) スイッチまたはスイッチ スタックのすべてのギガビットイーサネットインターフェイスに対して MTU サイズを変更します。 指定できる範囲は、1500～9198 バイトです。デフォルトは 1500 バイトです。
ステップ 4	end 例： Switch(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	copy running-config startup-config 例： Switch# copy running-config startup-config	コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。
ステップ 6	reload 例： Switch# reload	オペレーティング システムをリロードします。
ステップ 7	show system mtu 例： Switch# show system mtu	設定を確認します。

システム MTU の設定例

次に、ギガビットイーサネットポートの最大パケットサイズを 7500 バイトに設定する例を示します。

```
Switch(config)#
Switch(config)# system mtu jumbo 7500
Switch(config)# exit
```

特定のインターフェイスタイプで許容範囲外の値を入力した場合、その値は受け入れられません。次に、ギガビットイーサネットインターフェイスを範囲外の値に設定しようとした場合に表示される応答の例を示します。

```
Switch(config)# system mtu jumbo 25000
                          ^
% Invalid input detected at '^' marker.
```

次の例では、**show system mtu** コマンドの出力を示します。

```
Switch# show system mtu
Global Ethernet MTU is 1500 bytes.
```

システム MTU に関する追加情報

エラーメッセージデコーダ

説明	リンク
このリリースのシステムエラーメッセージを調査し解決するために、エラーメッセージデコーダツールを使用します。	https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Errordecoder/index.cgi

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

テクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/support</p>

システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS 15.0(2)EX	この機能が導入されました。

